

# 一般質問通告書

令和7年第3回議会定例会（令和7年9月）

---

## 質問者(9名)

---

- ① 福川 勝久
  - ② 田尻 博樹
  - ③ 西 文男
  - ④ 西 吉信
  - ⑤ 窪田 仁
  - ⑥ 長山 美香
  - ⑦ 根釜 昭一郎
  - ⑧ 川畑 光男
  - ⑨ 原崎 幸雄
- 



知名町議会

通告順	議席 7 番	福川 勝久	令和7年9月 日
1			時 分 ~ 時 分
<b>1. 町の観光スポットの駐車場について</b>			
<p>① ウジジ浜公園は多くの方が訪れる場所ですが、駐車場が狭く特に大型バスの駐車や転回が難しいため、安全性や利便性に課題があります。そこで駐車場の増設や再整備が必要と考えるが、町として整備することは可能かどうか、お伺いします</p> <p>② 町内の他の観光スポット（シニキャ浜、ビーチロック、沖泊海浜公園）における駐車場、道路整備について、町としてどのように現状を認識し、今後どのような対応を進めていくお考えかお伺いします。</p>			
<b>2. 町民体育館について</b>			
<p>① 現在の町民体育館の老朽化の状況と、それに対する町の認識についてお伺いします。</p> <p>② 大規模な改修または建て替えに向けた具体的な計画はあるのかお伺いします。</p> <p>③ 施設整備にあたって、町としての優先順位と、財源の確保に向けた考え方を伺いします。</p>			
<b>3. 武道館の現状と今後の方針について</b>			
<p>現状の建物の安全性の評価や防災上のリスクを踏まえたうえで、今後の利活用の可能性（特に若者の活動の場としての活用）や撤去・整備など、町としてどのような方向性を検討しているのか、また、その判断を下す時期や今後の対応スケジュールについてお伺いします。</p>			

通告順	議席 1 番	田尻 博樹	令和 7 年 9 月 日
2			時 分 ~ 時 分
<b>1. 花卉振興について</b>			
<p>沖永良部島は「花の島」とも言われているが、本町では近年テッポウユリをはじめ花卉農家の減少や経営品目の転換が止まらない現状である。町として今の現状をどう捉えているのか、また今後の方針について伺う。</p>			
<b>2. 地域計画について</b>			
<p>「人・農地プラン」から「地域計画」に移行し法定化され「目標地図」の作成が義務付けられた。また、地域計画は10年後を見据えた地域農業の将来像について地域での話し合いを行い策定することになっている。</p> <p>① 令和 7 年 4 月から農業経営基盤強化促進法の改正により、農用地利用集積計画（利用権設定）が廃止され、貸借については農地法 3 条の許可を受けるか、農地バンク（中間管理機構）事業の 2 通りとなったが、農地バンクへの集積は進んでいるのか伺う。</p> <p>② 令和 6 年度から相続登記が義務化されたが、相続未登記農地は多数あると思われる。未登記農地でも農地バンクへの貸し付けはできるのか伺う。</p> <p>③ 本町の農地面積は 2109 ha であるが、担い手への集積率は何パーセントか。また担い手への集約も進んでいるのか伺う。</p> <p>④ 地域計画策定にあたって「守るべき農地」の設定がなされるが、農地転用にどのような影響が生じるのか伺う。</p> <p>⑤ 地域計画は集落の将来像について大事な話し合いであると思うが、農家の参加者が少ないと聞いている。周知はどのように行っているのか伺う。</p>			

通告順	議席10番	西 文男	令和7年9月 日
3			時 分 ~ 時 分
<b>1. 農業政策について</b>			
<p>① 畑灌施設で昭和56年に補助事業で導入された移動式散水器具等は実施から30年以上が経過している為、経年劣化等でホースの破損や器具等に不具合が生じている為、利用が困難な状況が見受けられている、移動式畑灌施設の更新や新規整備事業ができないか伺う。</p> <p>② 屋子母集落内は、現在県道沿いのコイン式立ち上がりの水汲み場の1ヶ所のみが利用できている。以前は他にもう1ヶ所あったが現在利用ができない状況である。干ばつ対策等で新設の立ち上がり式水汲み場はできないか伺う。</p>			
<b>2. 教育行政について</b>			
<p>町民の方が、大津勘字に計画している教職員住宅建設のための土地を町へ寄付されたと伺っています。今後の大津勘字に建設予定の教員住宅の建設計画について伺う。</p>			
<b>3. 伝統文化の継承について</b>			
<p>① 沖永良部の先人たちが作ったシマ唄は、生活に密接に結びついている。そのシマ唄が消滅の危機にあると言われているが、町は伝統芸能保存継承のための施策はどのように考えているか伺う。</p> <p>② 沖永良部民謡協会も、島謡の響きを永遠に伝統芸能保存継承の為に自助努力をし、民謡協会年会費を積立て10年に1回の発表会を開催しているが、保存継承危機を感じている。町として補助や助成は出来ないか伺う。</p>			
<b>4. 自動車臨時運行許可書（仮ナンバー）申請について</b>			
<p>仮ナンバーの申請から取得について現在どのようになっているか伺う。</p>			

通告順	議席 5 番	西 吉信	令和7年9月 日
4			時 分 ~ 時 分
<b>1. 住吉貝塚内の町道屋子母住吉線（サイクリングロード）の幅員の拡張について</b>			
<p>現在の道路の幅員は 3.3mであり、対向車との離合ができません。字民やこの道路を通行する方が困っていることから早期の幅員拡張ができないか、又は3ヶ所程度、対向車が来た時に離合できる場所の設置はできないか伺う。</p>			
<b>2. 町道の排水沈砂池の管理について</b>			
<p>町道知名正名海岸線から住吉霊園へ向かう交差点横に沈砂池が設置されており数年が経過しております。現在は沈砂池を取り囲むフェンスが壊れ雑草が生い茂っています。</p> <p>① 同箇所の沈砂池の担当課を伺う。</p> <p>② 今後のフェンスの修繕と沈砂池の管理についてどのように考えているか伺う。</p>			
<b>3. 住吉霊園の水道施設と外灯の設置について</b>			
<p>① 住吉霊園は水道施設がなく、お墓参りや清掃の際に不便を感じています。水道施設が設置できないか伺う。</p> <p>② 住吉霊園は外灯がなく、冬場の午後6時以降にお墓参りをされている方は車のライトを照らして花のお供えをして線香をしている状況にあります。そこで外灯の設置ができないか伺う。</p>			

通告順	議席 8 番	窪田 仁	令和 7 年 9 月 日
5			時 分 ~ 時 分
<b>1. 農業振興について</b>			
<p>沖永良部の農業振興は、重要だ！！持続可能な農業をめざして！！</p> <p>① 重要病害虫ジャガイモシストセンチュウが、種苗産地の一部に入った情報があります。現状の把握と農家が、安心して生産できる持続可能な農業について伺います。</p> <p>② 知名町土づくり推進費は、土壌診断に基づいた土壌改良剤を購入した方に対し対象経費の3分の1以内（1戸あたり上限10万円）の助成を行っています。現状、土壌診断に時間を要しているため受付と結果報告を早めることはできないか伺います。</p>			
<b>2. 観光・商工業の振興について</b>			
<p>① 観光業振興について：観光客の利便性をはかるため（屋子母海岸・沖泊り海岸・ウジジ浜）に公衆無線 LAN を設置できないか伺います。</p> <p>② 商店街振興について：商店街を訪れる方の利便性をはかるため商店街の駐車場（美屋ストア横・若大将前・セントラルスポーツ前・ピュアゴ横）に公衆無線 LAN を設置できないか伺います。</p>			
<b>3. 文化財（芭蕉布）について</b>			
<p>① 6月定例会で提案した沖永良部芭蕉布の県重要無形文化財に向けた取り組みの進捗状況について伺います。</p> <p>② 織士である長谷川千代子氏を、沖永良部芭蕉布の重要無形文化財の保持者（人間国宝）として認定に向けた取り組みができないか、伺います。</p>			

#### 4. 道路整備について

- ① 町道（下平川竿津線）は、沖永良部バスが3回往復する。高等学校の通学路、牛のセリ市場と交通量の多い幹線道路です。道路は古くツギハギや凹凸が多くてとても危険な道路です。道路整備について伺います。
- ② 町道（竿津栄畑線）は、道路幅が狭く雨天時後はぬかるみ、じゃがいもの収穫やサトウキビの収穫と搬出に大変苦慮しています。道路整備について伺います。

#### 5. 住宅整備について

少子・高齢化や地域の人口の減少により、高等学校・小学校の生徒数や各集落の衰退が見られます。土地の無償提供があった場合、若者定住住宅が建設できないか伺います。

通告順	議席 2 番	長山 美香	令和7年9月 日
6			時 分 ~ 時 分
<b>1. 公共交通対策について</b>			
<p>昨年9月の定例会において「買い物弱者」対策について一般質問をおこなったが、その後の公共交通対策について伺う。</p> <p>① 沖永良部公共交通活性化協議会において10月から現行6路線を休止し、デマンド交通の実証実験を行うことが決まったが、約1ヵ月という短い期間での町民への周知は可能なのか、また周知方法について伺う。</p> <p>② なぜ「ドア to ドア」のライドシェアではなく「停留所 to 停留所」のデマンド交通に決まったのか経緯と理由について伺う。</p> <p>③ 今後ライドシェアの導入、併用も在り得るのか伺う。</p>			
<b>2. 旧庁舎の跡地利用について</b>			
<p>① 昨年度末に「官民連携支援事業」の調査結果を公表するとのことだったが、公表はされているか。</p> <p>② 調査結果を受けて現段階の進捗状況について伺う。</p> <p>③ 現在旧庁舎入り口には立ち入り禁止のロープが張られているが、新庁舎への案内板も設置してはどうか。</p>			
<b>3. 町政2期8年の成果と課題について</b>			
<p>① 2期8年の町政運営を振り返り、町長ご自身が評価されている点や、今後の課題について伺う。</p> <p>② 3月の定例会の福井議員の質問に対して具体的な選挙マニフェストを町民に早期提出する方針を示したが、マニフェスト提示はいつ頃を予定しているか伺う。</p>			

通告順	議席 9 番	根釜 昭一郎	令和7年9月 日
7			時 分 ~ 時 分

## 1. 「ヘルシーリゾートアイランド構想」について

本町を含む奄美群島では、かつて徳洲会グループが「ヘルシーリゾートアイランド構想」を掲げ、医療・福祉・観光を結びつけた地域振興の可能性が示された経緯があります。近年では全国的にも、健康増進やウェルネスツーリズムといった観光振興の取り組みが注目されており、医療や介護との連携によって地域の新しい価値を生み出している事例も見受けられます。そこで伺います。

- ① 本町はこの「ヘルシーリゾートアイランド構想」について、どのように把握しているのか。また、過去の経緯やこれまでの検討状況はどうか。
- ② 観光と健康増進を融合させた「ヘルシーリゾートづくり」に関して、本町として今後どのように関わり、どのような発展を目指していくのか、町長の考えをお聞かせください。
- ③ 医療・介護・福祉と観光を連携させた「健康長寿の島づくり」を推進する意欲があるのか、具体的な方針があれば伺います。

## 2. 介護人材育成のための特区活用について

介護分野の人材不足は全国的な課題であり、本町においても高齢化の進展とあわせて深刻化することが懸念されます。国では国家戦略特区などの制度を通じて、外国人材の活用や人材育成の柔軟化といった取り組みが進められております。そこで伺います。

- ① 本町における介護人材不足の現状と課題認識はどのようなものか。
- ② 特区制度や規制緩和を活用し、地元の若者や移住者を対象とした介護人材育成の仕組みづくりを検討する考えはあるか。
- ③ 外国人材の受け入れや研修体制整備について、町として独自に取り組める可能性はあるか。
- ④ 観光資源と介護人材育成を組み合わせ、ヘルシーリゾート構想と連動させた地域振興策を展開する考えについて、町長のご所見を伺います。

通告順	議席 12 番	川畑 光男	令和 7 年 9 月 日
8			時 分 ~ 時 分
<b>1. 田水団地の今後の計画について</b>			
<p>田水団地は老朽化が進み、居住者においても住宅の爆裂など危険な状態にある。住宅環境においては建設課の定期的な清掃により一部は整備されているようですが、住宅においては整備がされていないようです。</p> <p>① 田水団地の解体についてはいつ頃なのか、居住者への説明はどのように行うか伺う。</p> <p>② 解体後の造成と住宅建設工事についてはどのような計画がなされているか伺う。</p> <p>③ 住宅の世帯数は何世帯か。また建設においては、鉄筋コンクリートで何階建てを計画されているのか伺う。</p>			
<b>2. 脱炭素先行地域について</b>			
<p>2025 年カーボンニュートラルに向けて、民生部門の電力消費に伴う CO<sub>2</sub> 排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室ガス排出削減についても、我が国全体の脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋を 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、モデル地区である。</p> <p>① メントマリ公園に設置されている小型風力発電機の今後の対応について伺う。</p> <p>② フローラルパークに設置されていた小型風力発電の検証結果と今後の対応について伺う。</p> <p>③ おきえらぶフローラルホテル小型コミュニティ EVバスは、2024 年 5 月に導入され 2025 年 4 月に故障、5 月に島外に修理依頼し、6 月に完了した。故障の原因と修理に係るコストについて伺う。</p>			

通告順	議席3番	原崎 幸雄	令和7年9月 日
9			時 分 ~ 時 分
<b>1. NPO法人メッシュサポートへの支援について</b>			
<p>① 令和4年5月20日、特定非営利活動法人メッシュ・サポートの理事長塚本祐樹氏が資金援助の依頼に来られたとの事で、同年7月の離島行政懇談会では問題提起されたとのことですが、その後どうなっているのかを伺う。</p> <p>② メッシュの活動は奄美群島の離島医療に大きく貢献されています。このことをふまえて鹿児島県、沖縄県に対し離島懇談会を通し提案がなされた事は大きな第一歩であると思います。知名町・和泊町の医療機関からは善意の寄付がされておりますが、本町としては何かしらの支援は検討されているかを伺う。</p> <p>③ メッシュの活動を維持していくためには、鹿児島県、沖縄県の両県の連携が必要です。本町として働きかけを行うべきではないか。</p>			